

## 校長通信 第1号

2学期の終業式の日「ぼうず通信」として学校の様子や校長の想いを発信していた元八王子拓真高校の校長である磯村元信先生に本校でご講演をして頂きました。その時から令和7年こそは校長通信を出す！と心に固く誓いましたが、なかなか出せずに3学期も後半に入ってしまった。やっとなかなか重い腰を上げて校長通信を発行いたします。第1号は3学期の始業式にお話をした「勇気バズーカー」についてです。ちょっと間が空いてしまいましたが……。よろしくお願ひいたします。

「勇気バズーカー」は小学部の児童から高等部の生徒までそれぞれの立場で考えることができるのではないかと問い取り上げました。

小学部の児童は「勇気バズーカー」を見ただけで「面白そうだな！私もやってみたいな！」となります。実際に「勇気



バズーカー」を手にしてみると思いのほか難しく、なかなか風を送ることができません。小学部の児童にはしっかりと握って、しっかりと引っ張るということを学習する教材としても使えるのではないかと思います。中学部になると、「勇気バズーカー」を使って強い風を放つことができるかな？というので、やはりしっかりと握る、引っ張る、狙うなどが目標になります。生徒によっては「どうしたらこの勇気バズーカーを上手に使うことができる？」と考えて見ることもできるのではないかと思います。そして、高等部の生徒には「勇気」について考える機会にもなるのではないかと問い取り上げました。「勇気バズーカー」はしっかりと土台を握る。強く引っ張ると勢いよく風が出る。そして、狙いを定めて、放つ。ということになります。このどれかが弱くても風は勢いよく出ません。そして、臆病の壁も倒せません。ではどうすれば、壁を倒せるか？それは、土台をしっかりと握り、強く引き、狙いを定めて撃つことです。その中で、土台は基本なので、日常の生活。引く力は想いです。何かを頑張ろう！やり遂げようとする想いです。そして、狙いは目標です。目標が明確になれば、しっかりと狙うことができます。

「勇気バズーカー」に込めた想い

しっかりと握る=土台=基本  
狙いを定める=狙い=目標  
強く引っ張る=引く力=想い

このように「勇気バズーカー」をとおして子供たちに様々な考えを思い浮かべてほしいと思いました。「勇気バズーカー」始めは形のない物を見せるにはどうしたらいいか？を考えて思い浮かびました。そこから、このような形も考えられるのでは？と考えていくうちに今回のような形になりました。大切なことは「考えること」「違う視点を持つこと」そして、「想像してみること」。そんなことをこの「勇気バズーカー」に想いを込めてみました。先生方の中には、事後指導を行ってくれたクラスもあったようです。簡単なことでも見え方、考え方によっては面白い方向に繋がる。そんな事を「勇気バズーカー」から感じ取ってもらえると嬉しい限りです。

今後も校長通信をとおして少しでも校長の考えを伝えていきたいと思ひます。磯村先生の言われる「残念な通信」にならないように十分気を付けていきたいと思ひます。